

## 平成 27 年度第 1 回富良野市公設地方卸売市場審議会議事録

日 時) 平成 28 年 2 月 18 日 (木) 午後 2 時 30 分～午後 3 時 30 分

場 所) 富良野市保健センター研修室

出席委員) 藤田均、高田英樹、大門敏雄、小早川恵二、藤林秀夫、横山茂、中西章氏、高井敏子、野原武

事務局) 山内室長、川上市場長、本田係長、福士

### 1. 開会

#### 2. 市長挨拶 (代理 石井副市長)

- ・ 富良野地方における生鮮食料品の安定供給を目的に、市場が開設されてから、市場(株)をはじめ、市場関係のみなさまの協力の下、維持してきたことにお礼を申し上げます。
- ・ ネット環境等、流通形態が変わり、買受人も鮮度や品質等を重要視していることから、管理・対応等も高度化している。
- ・ 平成 8 年から冷蔵庫改修費用を借入償還しているが、32 年度には償還が終わり、また、施設にかかる修繕料もかさんでいる
- ・ 第 5 次富良野市総合計画前期 5 ヶ年終了間近となり、議事にもあるが、市場の今後の方向性について意見をいただきたい。

#### 3. 会長挨拶

- ・ 一昨年の消費税増税から一般消費が低下している。来年度も 10%へ増税されることから、ますます消費が減っていくことが懸念される。
- ・ 今年は青果の金額が上がり、良い年となった。
- ・ 個店の廃業が目立ってきている。上富良野でも大型スーパー 2 店が撤退。
- ・ 石井副市長も述べていたが、ドラッグストアでも食料品を売り出し、テレビショッピングやネットなど流通形態が多様化している。

#### 4. 報告事項

(報告事項、事務局より説明) ⇒報告事項に関する質疑なし

#### 5. 議事

別紙 4 について、事務局より説明、以下、審議委員からの意見

- ・ 地元の市場があって取引できる環境があることはありがたいこと。未永く市場には営業してもらいたい。
- ・ 卸売市場については必要なものと認識している。方向性について意見をと言われても、このような大事なことを判断する際に、判断材料が足りないのではないか。市

の考えや検討資料などをそろえた上で、審議会を開催してはどうか。

- 近隣の卸売市場でも運営をやめたところもあるほど、市場の経営環境は厳しい。議論して市場の運営について方向性を見出すことは必要なことなので、いろいろ検討いただいた上で資料をそろえてほしい。
- 富良野市場で地元の農産物を扱うことにより、地域の農家にもメリットがある。
- 市場が必要であるという認識は共通していると思うが、市から配布のあった資料の中で、「市が莫大な予算を投下するのは『不可能』」とまで言い切っていることについては違和感がある。
- 説明を聞くと、「公設」が支障となってきたのではと感じる。市場側の経営努力により取扱高を伸ばしてきており、今後の市場運営に向けて設備の維持充実が必要と言っているが、市は財政が厳しく対応できないと言う。今は、省電力化するような民間設備投資に対する国の補助金などもあると思うが、市が設備を所有しているのは、そうした補助金を活用する道もないのでは。
- 公設市場の設置者は市なので、市が考え方を示してほしい。  
最後に、藤田会長から次の発言があり、議事を終えた。
- （検討材料が不足しているという委員の指摘に関連して）次回どのような形で審議会を開催できるか、市として十分検討いただいた上で、開催いただきたい。

## 6. その他

特になし

## 7. 閉会（午後 3 時 30 分終了）